

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その1) (単位:千円)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街						
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備						
施策の基本方針	<p>阪神・淡路大震災に代表される都市型大規模地震、集中豪雨や台風による大規模な洪水・土砂災害などから、市民生活の安全・安心を守るため、自主防災活動の充実を通して地域の防災力を高めます。また、被災時の避難場所や応急活動の拠点となる公共施設の計画的な耐震改修や、災害時の非常通信を確保する防災行政無線の整備など、地域住民等と行政との協働による計画的な災害対策を講じ、災害に強い都市づくりを推進します。</p>							
	計画事業の実施状況							
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費					進捗率(%)
			19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)	22年度(予算)	合計	
1	自主防災活動の推進	72,000	16,704	17,199	18,000		51,903	72.1
1	簡易型災害図上訓練(DIG)への支援	5,000	280	2,761	900		3,941	78.8
1	災害時要援護者避難支援対策	12,000	4,326	1,664	2,800		8,790	73.3
2	地震等防災対策の充実と避難体制の強化	95,000	42,420	26,103	10,265		78,788	82.9
2	防災行政無線拡充整備	288,000	5,900	99,144	151,000		256,044	88.9
2	防災情報伝達モデル等推進事業	3,000	283	1,260	1,260		2,803	93.4
2	雨に強いまちづくり	897,000	2,489	36,969	200,226		239,684	26.7
2	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業	311,000	0	4,932	112,000		116,932	37.6
2	緊急貯水槽等整備事業	1,119,000	453,266	563,979	377,532		1,394,777	124.6
3	市有建築物耐震化推進事業	78,000	13,492	12,497	30,367		56,356	72.3
3	区役所施設等耐震補強事業	1,025,000	27,142	70,037	5,400		102,579	10
3	学校施設耐震補強事業	5,138,000	284,478	1,306,824	1,150,800		2,742,102	53.4
3	学校改築事業	13,589,000	3,950,172	2,351,457	1,804,000		8,105,629	59.6
3	中央体育館改築事業【再掲】		0	0	0		0	-
3	中島体育センター耐震改修事業(H20終了)	6,000	179	4,052	0		4,231	70.5
3	大通バスセンター耐震化・バリアフリー化等改修事業	300,000	0	39,142	0		39,142	13
3	消防施設耐震補強事業	41,000	0	1,437	12,500		13,937	34
3	災害に強い道づくり事業(橋りょうの耐震化)	2,840,000	756,942	785,200	984,300		2,526,442	89
3	札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化	1,477,000	482,955	445,433	255,600		1,183,988	80.2
3	下水道施設の耐震化	2,157,000	193,483	870,984	887,881		1,952,348	90.5
3	民間建築物耐震化促進事業	308,000	12,953	22,741	78,877		114,571	37.2
	(以下余白)						0	
							0	
合計(計画事業費が「-」の事業は除く)		29,761,000	6,247,464	6,663,815	6,083,708		18,994,987	63.8

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備
主 な 取 組 内 容		
施策1	住民等との協働による災害対策	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	自主防災資機材の助成 防災資機材90セット購入 防災リーダー研修 18回/1,033名 防災表彰 市内11団体を表彰 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修) 簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員養成研修 実施回数:2回 DIG普及員数:48名 札幌市災害時要援護者支援検討委員会 検討委員会 2回 地域支援部会 5回 上記ガイドライン及びハンドブックの作成 各4,000部	自主防災資機材の助成 防災資機材90セット購入 防災リーダー研修 17回/882名 防災表彰 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修) 簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員養成研修 実施回数:2回 DIG普及員数:54名 DIG普及用パンフレットの作成・配布 80,000部 市民に対してDIGを行うための職員用マニュアルの作成 災害時要援護者避難支援モデル事業 市内2地区 災害時要援護者避難支援対策のための市民向け普及啓発用パンフレット等の作成 50,000部 出前講座の実施 26回
	21年度(予定)	22年度(予定)
	自主防災資機材の助成 防災資機材90セット購入 防災リーダー研修 16回/800名 防災表彰 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修) 簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員養成研修 実施回数:2回 DIG普及員数:60名 「(仮称)DIGマスター」を養成するための研修実施 1回 DIGを行うための資材等支援 災害時要援護者避難支援モデル事業 市内4地区 災害時要援護者避難支援対策のための普及啓発フォーラムの開催	
施策2	地域防災力の強化	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	石狩低地東縁断層帯の強震動評価や地下構造調査などの最新の知見に基づく、地震動予測及びその結果に基づく被害評価の実施 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル(洪水編)」の作成 札幌市水防計画修正案の作成 防災行政無線に係る実施設計の実施 300箇所 緊急起動ラジオ購入 25台 豊平川雨水貯留管及び雨水分水施設の基本設計 水防センター基本設計の実施に向けた協議調整 緊急貯水槽整備 2カ所新設(厚別公園、明日風公園) 緊急時給水管路整備 施工延長 1,343m	地震ハザードマップの作成 地域防災計画(地震対策)の修正に向けた庁内検討体制づくり 避難勧告等の判断・伝達マニュアル(土砂災害編)の作成 土砂災害ハザードマップのモデルパターン作成 防災行政無線の整備工事 120箇所 防災・危機管理情報伝達システムの調査・研究 豊平川雨水貯留管及び雨水分水施設の実施設計 水防センター実施設計の実施 緊急貯水槽整備 1カ所新設(新陵小学校) 緊急時給水管路整備 施工延長 1,122m
	21年度(予定)	22年度(予定)
	地域防災計画(地震対策・土砂対策)の修正素案の作成 地震ハザードマップの普及啓発を兼ねた地震防災シンポジウムの開催 土砂災害ハザードマップ作成に向けた調査研究 防災行政無線の整備工事 180箇所 防災・危機管理情報伝達システムの調査・研究 豊平川雨水貯留管及び雨水分水施設の新設工事 水防センターの建設工事 利活用プログラムの作成及び関係部局との協議調整 緊急貯水槽整備 2カ所新設(北郷小学校、札苗東公園) 緊急時給水管路の遮断弁操作盤設置	

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備				
主 な 取 組 内 容						
施策3	公共施設等の耐震機能の強化					
19年度(実績)			20年度(実績)			
耐震診断の実施 6施設(石山児童会館など) 耐震化事業の実施 一般施設の耐震改修、建替 4施設(北区役所別館など) 学校の耐震改修、建替 28校(中央小学校など) 北区役所別館耐震改修基本設計 豊平区役所・保健センター耐震改修基本設計 白菊会館解体工事・改築設計 学校施設耐震補強工事 琴似小 同設計等 小学校 12校 中学校 10校 特別支援学校 1校(山の手養護) 学校改築及び用地造成 小学校 1校 中学校 2校 中央体育館改築立案及び調査 中島体育センター耐震改修実施設計 大通バスセンター耐震化のための協議 橋りょう耐震補強工事 6橋 災害時基幹病院へ向かう配水管耐震化工事 4箇所5.54 kmのうち 北海道がんセンター 施工延長 0.99km完成 下水道施設の耐震化 地震対策計画の策定、管路耐震化、水再生プラザ耐震化 民間建築物耐震化促進 木造住宅耐震診断補助 55棟 木造住宅の耐震化に関する普及啓発(パンフレット作成 等) 耐震改修促進計画の策定(建物実態調査等) 共同住宅構造計算書調査支援(15棟など) 構造関係相談窓口開設			耐震診断の実施 5施設(彫刻美術館など) 耐震化事業の実施 一般施設の耐震改修、建替 3施設(南区役所など) 学校の耐震改修、建替 12校(平岸西小学校など) 豊平区役所・保健センター耐震改修実施設計 南区役所耐震改修基本設計 白菊会館(175㎡)建築工事 学校施設耐震補強工事 小学校9校 中学校 8校 特 別支援学校 1校(山の手養護) 学校改築、基本設計ほか 小学校 10校 中学校 8校 中央体育館改築調査及び建設規模等の検討 中島体育センター耐震改修工事 大通バスセンター耐震改修実施 南消防署庁舎の耐震化改修工事に伴う実施設計 橋りょう耐震補強工事 9橋 災害時基幹病院へ向かう配水管耐震化工事 8箇所6.25 kmのうち 市立札幌病院ほか4箇所 施工延長 4.98km完 成 下水道施設の耐震化 管路耐震化、水再生プラザ耐震化 民間建築物耐震化促進 木造住宅耐震診断補助 45棟 普及啓発(パンフレット 作成、相談窓口開設) 特定建築物、分譲共同住宅の耐震診断補助(58棟など) 普及啓発等(パンフレット作成、相談窓口開設)			
21年度(予定)			22年度(予定)			
耐震診断の実施 9施設(円山動物園など) 耐震化事業の実施 学校の耐震改修、建替 14校(大倉山小学校など) 南区役所耐震改修設計 豊平区役所・保健センター耐震改修工事 学校施設耐震補強工事 小学校11校 中学校8校 学校改築、基本設計ほか 小学校20校 中学校4校 高 等学校1校 中央体育館改築調査及び建設規模等の検討 大通バスセンター施設活用検討 南消防署庁舎の耐震化改修工事 橋りょう耐震補強工事 7橋 災害時基幹病院へ向かう配水管耐震化工事 札幌厚生 病院ほか1箇所 施工延長 2.29km 下水道施設の耐震化 管路耐震化、水再生プラザ耐震化 民間建築物耐震化促進 木造住宅耐震診断補助 200棟 普及啓発(パンフレット 作成、相談窓口開設) 特定建築物、分譲共同住宅の耐震診断補助(95棟など) 普及啓発等(パンフレット作成、相談窓口開設)						
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
防災行政無線	518基	518基	638基	818基		818基

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備
評価(成果)		課題
施策1 住民等との協働による災害対策		
<p>防災資機材の助成、防災リーダー研修などによる自主防災活動への支援 簡易型災害図上訓練(DIG)の普及員養成研修などによる体制の整備 災害時要援護者避難支援モデル事業の実施(2地区)による地域の避難支援体制の整備 「災害時要援護者避難支援ガイドライン」の作成や「災害時支えあいハンドブック(概要版)」の町内会への配布、出前講座の実施 のそれぞれの事業を通じて、住民等との協働による災害対策の取組が着実に進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災資機材の利活用の推進や防災リーダー研修の項目見直し ・ 先進的な取組みを行っている団体の事例やノウハウの共有化 ・ 簡易型災害図上訓練(DIG)のさらなる周知と積極的な参加のための工夫 ・ 災害時要援護者避難支援モデル事業に関する情報の提供、地域の特性に応じた様々な対応、及び行政内部における連携 	
施策2 地域防災力の強化		
<p>新たな知見に基づく地震動予測及びその結果に基づく被害評価の実施、地震防災マップの作成 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」(洪水編・土砂災害編)の作成や洪水時の避難情報等の伝達手法の制定、土砂災害ハザードマップモデルパターンの作成 防災行政無線の整備や「実現可能な情報伝達システム」の設計 などの防災対策の充実や、 豊平川雨水貯留管等の実施設計による雨水分水施設の詳細な構造と位置の検討 水防センター建設に向けた整備基本方針と実施設計 大規模な災害時に備えた緊急貯水槽及び緊急時給水管路整備 などの計画的な施設整備等、ソフト・ハードの両面にわたるそれぞれの事業を通じて、地域防災力の強化が着実に進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的な危機管理(防災)体制や防災協働社会の確立と地域住民への知識浸透と意識啓発 ・ 積雪寒冷地という地域特性を踏まえた上での費用対効果の高い防災システム等対策の推進 ・ 既整備システムの更新や増設に伴う基地局新設、増波要請等 ・ 豊平川雨水貯留管及び分水施設の整備 ・ 水防センターの供用開始に向けた河川防災ステーション全体の利活用プログラムの策定 	
施策3 公共施設等の耐震機能の強化		
<p>区役所や学校施設、体育館、消防署等の公共施設 橋りょう、下水道施設、水道配水管等のライフラインの耐震補強や、 「札幌市耐震改修促進計画」の策定 耐震診断補助等の支援 のそれぞれの事業を通じて、公共施設等の耐震機能の強化が着実に進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急性の高い施設以外の公共施設の耐震化 ・ 長い期間と多額の予算を要するライフライン関連施設等への効果的な耐震化実施方法の検討 ・ 民間建築物に対する耐震診断補助等市民への普及啓発の充実と支援制度の拡充の検討 	
今後の重点取組		
<p>災害に強い安全なまちの整備には、自主防災活動の充実を通して地域の防災力を高めることや、公共施設やライフライン、民間建築物などの耐震機能の強化を図ることなどにより、地域住民等と行政との協働による計画的な災害対策を講じることが求められる。</p> <p>しかしながら、施設等ハード面の整備については、長期の時間と多額の予算が必要となることから、各事業における進捗の促進と効果的かつ効率的な事業手法の選択による取組が必要となる。</p> <p>一方、ソフト面の取組については、自助・共助を基本とした「地域力」の向上が不可欠であり、そのためには、市民に分りやすい広報・啓発活動を継続するとともに、実効性のあがる支援策を推進していく必要がある。</p>		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備

成果指標等の動向

<p>項目1 自主防災組織の結成率(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>結成率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>86.6</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>87.9</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>88.3</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	結成率(%)	H18 (現状値)	86.6	H19	87.9	H20	88.3	H22 (目標値)	90.0	<p>項目2 簡易型災害図上訓練(DIG)に参加した人数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>1,063</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>890</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>2,271</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>2,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加人数(人)	H18 (現状値)	1,063	H19	890	H20	2,271	H22 (目標値)	2,500		
年度	結成率(%)																						
H18 (現状値)	86.6																						
H19	87.9																						
H20	88.3																						
H22 (目標値)	90.0																						
年度	参加人数(人)																						
H18 (現状値)	1,063																						
H19	890																						
H20	2,271																						
H22 (目標値)	2,500																						
<p>項目3 第1次緊急輸送道路における橋りょうの耐震化率(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>耐震化率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>93.8</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	耐震化率(%)	H18 (現状値)	68.8	H19	75.0	H20	93.8	H22 (目標値)	100.0	<p>項目4 札幌市内の住宅の耐震化率(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>耐震化率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>82.8</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>85.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成20年実施の住宅土地統計調査実施後に把握 平成22年末公表</p>	年度	耐震化率(%)	H18 (現状値)	82.8	H19	-	H20	-	H21	-	H22 (目標値)	85.5
年度	耐震化率(%)																						
H18 (現状値)	68.8																						
H19	75.0																						
H20	93.8																						
H22 (目標値)	100.0																						
年度	耐震化率(%)																						
H18 (現状値)	82.8																						
H19	-																						
H20	-																						
H21	-																						
H22 (目標値)	85.5																						
<p>項目5 0</p>	<p>項目6 0</p>																						

成果指標等から見た重点課題の評価

災害に強い安全なまちの整備には、自主防災活動等の充実を通して地域の防災力を高めるソフト事業と、被災時の避難場所や応急活動の拠点となる公共施設の計画的な耐震改修などのハード事業の両面から、地域住民等と行政との協働による計画的な災害対策が必要です。

この両面からの取組として成果指標等の動向を見ると、昨年度に引き続き札幌市内の住宅の耐震化率(平成20年実施の住宅土地統計調査実施後に把握)を除き、計画どおり順調に推移しており、一定の評価が出来るものと思われます。(ただし、簡易型災害図上訓練(DIG)に参加した人数については、開催場所や時期等により左右される場合があります)